



多古中央病院 (小児科)

町長 来年度当初予算の目玉を重々しく提示したいところ
見直しを伺います。

問 来年度(平成26年度)予算は、町長選挙を控え、町長にとって8年間の集大成という形になりますが、予算編成の重点について伺います。特に子ども医療費助成の年齢拡充については県制度の引き上げを働きかけ、加えて町制度の18歳までの拡充を求めます。

また、学校教育施設空調機設置の見直しを伺います。

問 「多古こども園」へ移行するに当たり、幼稚園教諭・保育士共に配属先によって待遇等の差異が生じないよう配慮を求めます。今

臨時職員の正規職員化を

ですが、財源が税収を含め縮小状態にありジレンマに至っている状況です。子ども医療費につきましては町が単独で中央病院を運営している立場から、先駆的に(中学3年生まで)助成してまいりました。国には町村会を介して強く要望し、県にも同じスタンスで臨んでおります。これからも多古町を安心して住める環境にしていきたいと思っています。

学校教育課長 空調機の設置につきましては、多古高校がエネルギー供給というようなガスヒートポンプ式施設のリース方法をとっていますので、町としてもそういった検討はしており、実現に向けて検討していかなければならないと思っています。

子育て支援課長 若い方で正規職員を目指している方もおられますが、6年以上の方で正規職員は考えずに、今の勤務のまま続けたという職員もおります。臨時・正

同条改正で、臨時職員賃金が改善され望ましいことではありますが、期末手当分を考えると、同じ6年勤務者の正規と臨時職員の差は70万円を超えます。同じ有資格者で同時にクラス担当を持つ立場であるならば、正規職員化を進めていく必要があります。6か月ごとの雇用更新を繰り返す不安定雇用を常態化してはいけ

町長 近年の保育所職員の採用につきましては、こども園の開園後の人事配置を見据え保育所・幼稚園部門どちらに配置しても業務を遂行できるよう両資格・免許を併せ持つものを雇用しております。それぞれの待遇面に関しましては給与や諸手当並びに加入保険等も同等であり、勤務時間についても当然同等です。

子育て支援課長 今回11段階から12段階に細分化しました。また、保護者説明会におきまして、皆さんに了解をいただき周知したところですので、細分化については控えさせていただきたいと思

問 保育料については、こども園移行後12段階になりますが、国の生活保護基準の引き下げにより、保育料に大きな影響が出ます。住民税の非課税基準も生活保護基準を参酌して決められますので、保護基準が下がれば、非課税世帯が課税世帯になる可能性があります。中間層から下段階を細分化し、引き下げを図って下さい。

規職員の役割分担をしながら働いていただくスタイルは当分続きます。新しいこども園を一日でも早く軌道に乗せ、しっかりとした運営ができるようにすることを第一に考えていきたいと思っています。

所要時間 60分

問 子ども医療費助成の拡充を 答 国・県に強く要望しています



石渡悦子議員

所要時間 59分

問 6次産業化への取り組みは 答 今後も新商品の開発に協力します

サポート体制が必要では

問 空港東側戦略構想の中での産業振興について、今後の町の運営維持のためにも独自の経済成長を目指すべきであり、次世代型の産業や、農業の6次産業化及び、企業に対しての資金面や施設提供(ビジネスインキュベーション)の支援をする等、多方面からのサポート体制が必要であると考えますが、現在の取り組み状況は。

町長 農業の6次産業化を推進しており、今年6月に販売した紅はるかのアイスクリュームや、多古キューブ米は農業者と加工者の連携により製造され、町としての地域ブランド力の向上が期待でき、今



新商品の多古キューブ米

後も新商品の開発に協力するとともに、販路の開拓支援も実施していきます。

問 新たな商品開発等の取り組みに関して、農商工連携支援事業である国からの補助金制度等の利用など、商工会と農業連絡協議会等との連携のために、町がパイプ役になつては。

産業経済課長 農業者と商工会との連携は進んでいない状況です。非常に重要なことですので、今後は農商工連携を深められればと考えています。

問 町の集客交流拠点である道の駅、今後の計画等について、コンサルタントと検討中とのことですが、どの位の期間でのリニューアルを目指していますか。

産業経済課長 道の駅は10ヶ年計画を見据えた検討委員会を設立しました。来年早々に方向性を出し、予算面も含め最終的な計画を打ち出せればと考えています。

問 人口減少に伴って増えてくる空き家、商工会でも空き店舗対策で予算計上されていますが、空き店舗、空き家への町の対応の現状はどうですか。

町長 新たな定住や2地域居住の重要性を喚起するとともに、情報の発信に対応できるようにHP掲載等を検討します。

問 町内での位の空き店舗や空き家があるか調査すべきと考えますが、現在実施していますか。

都市計画課長 空き家状況の把握はしていませんが、今後は地域の方の協力を得ながら把握していきたいと思っています。



菅澤環議員

問 町が婚活を実施しては

内閣府より来年度から地方自治体に向けた支援として、地域少子化危機突破プランが始まり、応募し選ばれた自治体は助成が受けられます。婚活事業を実施し、効果を上げていく市町村も多く、国も少

問 周辺の市町村では、HP(ホームページ)に婚活を明記してあります。町全体として婚活事業の必要性や重要性を示すためにもHP掲載し、町で婚活を行っていただきたいと思いますが、考えは。

町長 今度も空港圏を主眼に機会を作るということを進めて行きたいと思っています。

※6次産業化とは…第1次産業の農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造(第2次産業)・販売(第3次産業)にまで踏み込むこと。(1次産業×2次産協×3次産業=6次産業)